

令和2年度 第2回 八尾市文化財保存活用地域計画協議会 会議録（概要）

開催日時：令和2年11月10日（火）14時00分～15時15分

開催場所：八尾市立青少年センター 集会室

出席者：委員10名（欠席2名）

教育長

事務局：生涯学習担当次長

文化財課職員3名

オブザーバー：大阪府教育庁文化財保護課

傍聴：なし

【冒頭】

1. 開会挨拶（教育長）

【議事内容】

1. 文化財保存活用地域計画について

（事務局：資料に基づき文化財保存活用地域計画（案）（序章～第1章）について説明）

<概要>

各章の節ごとに内容の説明を行った。

<質疑>

委員：市内にどんな無形文化財があるか教えてほしい。歴史の継承ということで、伝統芸能や職人達の現状や将来的な問題について教えてほしい。

事務局：無形文化財は市内には少ない。無形民俗文化財については市指定があるが、未指定で講念佛踊のような江戸時代より伝わっているものもある。講念佛踊は、現在場所を変えて、曙川東小学校で保存されている。工芸技術や舞楽などの技術等については十分把握できていない。

委員：講念佛踊は小学校の行事として保存されているのか。それとも小学校の校区で保存されているのか。

事務局：小学校の校区で保存されている。元々は田井中という地域で行われていたが、現在は曙川東小学校で受け継がれていて、子ども達に教えられている。

委員：技術の伝承について、古くからの技術を身につけている方は高齢化していると思う。市内にどんなものがあるかリスト化はされているか。

事務局：伝承技術という意味では中々難しいと思うが、八尾には河内木綿というものがあつたが、途絶えてしまった。復活に向けて活動されている団体がいるが、団体も高齢化が進んでいる。河内木綿の藍染めについても復活に向けてNPO法人等が活動しているが、商売としてはされていない。今後を見据えて考えないといけない状況である。

委員：P17「(8)景観」で、景観計画についても記載されているが、景観形成と文化財の保護は密接な関係があると思うので、景観計画区域内での景観形成の方向性や重点地区の範囲を示した方

がよい。「(8)景観」は現状を書くところか、計画も含めた内容を書くところかが曖昧になっている。関連計画に景観計画を追記してもいいと思う。

『久宝寺寺内町では、まちなみ保全や景観形成の取り組みがすすめられ』とあるが、市の補助事業や協定などについても具体的に記載した方がよい。アンケートでも寺内町などまちなみについての市民の意識が高いということもあるので、そういうことと計画を積極的に連携することは大事だと思う。

事務局 : 範囲の図示等は掲載したい。「(8)景観」は現状と計画等を述べるところであり、景観計画の内容を活かして記載したいと思う。

久宝寺寺内町の修景については、建物や町の修景、道路舗装、掘割修景など土木工事も進めているので、その情報や現状の写真を加えて、措置に繋がる内容にしたい。

委員 : 「第1章八尾市の概要」は、歴史資産群の背景となる自然・歴史的な条件の整理がいると思う。歴史資産群を意識して、書き入れる必要があると思う。例えば、P14「(5)地形」で、『平野部は…氾濫平野と自然堤防からなる』とあり、寺内町が自然堤防上にあるのかどうか重要だと思うが、そうことが読み取れない。山地では、地すべり地形や土石流地形を避けるように土地を使ってきたのかどうかなど、集落や古墳の立地と関係があるなら、意識しながら書いた方がよい。P15の図「八尾市の河川と生駒山地」は、地形分類図をベースにして、旧集落や古墳の位置を示すなど分析の部分も含めると、歴史資産群の背景を説明しやすいと思う。「地形」と「地質」が分かれていて読みにくいので、1つにしたいと思う。生駒山地の造山活動の話も入れて地形について書くと全体が分かりやすくなると思う。

P14「(4)気候」で、『周囲の山地が季節風の影響を和らげる』とあるが、山地に囲まれたような場所ではないと思うが、周囲の山地とは生駒山地のことか。温暖少雨だと書いている一方で、P29「(3)災害史」で災害があると述べられており、災害が起こる条件についてあまり整理されていない。関連性の取れていない内容になっているので、それぞれの環境を意識しながら整理すると、概要の意味が出てくると思う。

事務局 : 特に地形等については、考古学的にはよく地形と集落等との関係を見るが、今回そういうアプローチはしておらず、現代的な視点での記載になっている。文化財の地域計画という観点から、そういうことは押さえておく必要があると思う。地名については歴史的な背景も記載しているので、「地形」や「災害史」等もう少し踏み込んで、歴史的背景に繋がる内容にしたい。

委員 : P22「(5)学校・生涯学習施設等」で、施設があるということだけ書いているが、学校では歴史民俗資料館やしおんじやま古墳学習館に行ったり、出前授業などを行っている。施設の活用状況についても書くと分かりやすいと思う。第4、5章で歴史資産の活用について書くのかと思うので、あとで書くのであればいい。青少年会館でも、講座や体験もしているので、該当するか検討してほしい。

事務局 : 施設や学校等での活用の現状については、第4章で取り扱いたい。

委員 : 歴史資産の背景と関連するようという意見と重なると思うが、文化財の地域計画だからその内容にする必要がある。後の章で、課題、方針、措置に繋がっていく内容を書くべきだと思う。後の章を書いていく中で、足りなかった内容を追記することが出てくると思う。例えば、「目的」で交流人口・関係人口を増やすということを書いているが、そういう内容の方針や措置を位置付けるのであれば、観光についても記載することが必要だと思う。今後の方針等を

見据えながら記載するとよいと思う。

委員 : P28「(2)産業史」で、もう少し詳しく書く章があるのかもしれないが、地場産業の転換や歯ブラシなど個別具体例を記した方がよいと思う。近代以降の農業から工業への転換についても含めて、「産業史」と「土地利用」が関わるように書いてはどうか。

事務局 : 歯ブラシの製造は現在盛んだが、元々河内木綿が衰退して、新たな産業として歯ブラシ生産に変わっていったと聞いている。大きな流れも産業史なので、もう少し加筆したい。「八尾の概要」と次の「文化財の概要」を合わせることで、課題が出てくる構成になっているので、「八尾の概要」は重要な位置づけにある。課題を書いている中で、書き足すこともあるかと思う。

委員 : 概要と後の章節とのつながりが見えない。文化財については歴史資産群に続くと思うが、概要の内容が後の章節とどのように関わるのかが分からない。産業などももう少し内容を膨らませないといけないところが多々あるので、精査する必要があると思う。

委員 : 各委員から同様の意見が出ているが、第1章の概要に後半の第3～7章との関係性を示す伏線的な文章が足りないというご意見だと思う。都市景観や産業については担当部局があり、産業振興プランなどの計画を持っている。文化財の保存活用と関連する都市景観や産業が何かという視点で書くことに留意してほしい。産業振興プランではここまで書いているということがあるので、それに委ねる部分も出てくると思う。庁内で調整しながら、市民に郷土愛を持ってもらいながらどう後世に伝えていくか。「第3章歴史資産の特徴」で出てきた内容をどう取り上げて、7年間の計画期間内で、人と金と物を投入していくのかという視点も必要だと思う。

事務局 : 文化財保存活用地域計画は他の計画と関わるところが多い。それらの計画とどう整合性をとり、措置に繋げていくかを考えることがこの計画の肝だと考えている。協議会とは別に庁内会議もあるので、できるだけ他の計画を参酌し、関係課と打ち合わせしながら、措置を考えていきたい。

委員 : 概要を後半の内容と整合させるということだが、「第3章歴史資産の特徴」で、歴史資産群のストーリーをどう作っていくかが計画の肝になると思う。そういう意味ではその前段の第1章でどこまで書き込むかは、書いてみないと分からないと思う。ストーリー的に括れるなら、第3章の内容はある程度書けると思う。前半は概要と割り切って、第3章の歴史資産群の説明で、それぞれのカテゴリーに合わせて歴史的なストーリーを書き込んでいくということもあると思う。作業を進めながら検討する方がいいと思う。

八尾の都市形成史的な捉え方は重要だと思う。以前、八尾の寺内町を見学したが、歴史的寺内町のところがそのまま商業中心の街になって、現在商店街が形成されている。開発の状況については、色々な見方があると思うが、ある意味ああいう形で都市の核が発展して、現代に継承されていることはユニークだと思う。郊外都市、住宅都市として発展してきたことも含めて今の環境があると思うので、都市形成史的な捉え方は重要だと思う。言い出すと色々な括り方が出てくるので、歴史資産群を捉えたいうえでフィードバックするといいい。

P21「(3)土地利用」で、都市計画マスタープランから図を挿入されていると思うが、今の開発や都市計画の基本的な状況については、用途地域や市街化区域・市街化調整区域など保全と開発を示す基本的な図がいたると思う。

事務局 : 委員が言われたように、「歴史資産の特徴」は内部で検討中である。歴史資産をいかに概要や

課題に繋げていくかは検討しているところである。歴史ストーリーは作れるが、それをいかに集合としてまとめていくかとなると、ストーリーの中身については次回色々ご意見をもらわないと前に進めないと思っている。それを概要に反映しながら検討していきたい。次回、「歴史資産の特徴」をみていただいて、改めてご議論させてもらいたい。土地利用については、市街化調整区域もあるので、そういうことも含めて記載する必要があると思う。

委員：歴史遺産ではなく歴史資産としているので、色んなものを歴史と絡めて書けると思う。次回以降、概要についても振り返って議論したい。

2. その他について

(事務局：資料に基づきアンケート結果速報、次回協議会日程について説明)

<質疑>

委員：アンケートの結果で、特徴や予想外なところはあるか。

事務局：インターネットのアンケートで実施しており、インターネット会社に登録された八尾市民の方が回答している。特徴としては、八尾の歴史に興味があるかということで、40%ぐらいの人が「興味がある」と回答されている。市民アンケートの方がやや少ない結果であり、近年八尾の歴史に対して、高安千塚や由義寺跡など新聞発表が最近あったので、そういう意味で興味がある人が増えてきているのかなと考えている。今回新しい計画を作っているが、そういうところに繋げていけるものだと考えている。

委員：アンケートはどのように実施したか。登録している人の中から八尾市民を選んだのか。

事務局：全国の人が登録しているが、八尾市民の人を対象にしている。通常の市民アンケートでは抽出で実施しているが、今回はインターネットを経由して実施した。

委員：アンケートを送られてきた人は突然アンケートがきたということか。

事務局：登録されている人なので、心構えはしていると思う。

委員：恣意的な回答ではなく、ある程度信頼できる回答でよいと思う。

委員：あまり遠出したくない社会環境で、近場なら行ってみようという思いは高まっていると思うので、八尾の歴史をアピールするにはよいタイミングだと思う。広報でテレビが効果的だと思うが、ちょっとした散歩スポットを紹介するとよいと思う。

委員：身近な文化財に触れる取り組みが既に色んな形であると思う。「第5節文化財の情報発信」とあるが、町歩きや教育での取り組み、マイクロツーリズムの観光資源としての活用などを書き込むといい。

委員：目次案ではP58までだが、計画のページ数はこのぐらいということか。

事務局：図や文章を今後追記するので、ページ数は増える。

【閉会】

1. 開会挨拶（事務局）

以 上